新聞定價一ヶ月80圓
月曜休刊　一部賣(3圓)

磐城日日

昭和29年(1954)2月28日　(日曜日)第1661号

所発行
社團法人磐城日日新聞
福島縣小名浜町字渚51番
電話代表387番
編集兼発行人　長瀬一壽

綱領

◎紙面を廣く讀者の論説に解放し、社会の意志を擁護する
◎一旦掲載した問題に關しては如何なる反論をも拒まず、これを尊重する

磐城日日新聞社

急轉して市制に明光
四月一日新市誕生はほゞ確實

難航に難航を重ね、四月一日新市發足の合ぺは列車に乘り遅れるかを憂えられた小名浜地區合ぺいは廿四日泉小学校講堂に開かれた縣地方課佐藤主事の合ぺい説明會を機に各町村に急轉直下合ぺい氣運に好転し、三月十日までには江名町を含めた三町一ヵ村合ぺい決議が可能ではないかと云う見通しが強くなり、前途は非常に明るいものとなつて來た

泉町合併を決意
四大町是遂行を條件

泉町議会協議会は二十六日午後一時から同町役場会議室に於て開かれ、縣地方課佐藤主事の合併説明を中心に合併に対する基本的大綱について協議を重ねた結果議会としては滿場一致「合併の方向に進む事」を申合せた

最もその態度が注目されて來た泉町議会が協議会に於て合併を決議した事は小名浜地區の合併、ひいては小名浜市誕生を大きく前進させるものとして縣下喜多方、須賀川、原町、相馬市と共に歩調を揃えて四月一日から新市発足はほゞ確定的となつた

泉町議会は佐藤主事の説明により

①今次合併から洩れゝば今後の平衡交附金その他の面で泉町程度の自治体では自立が困難であること

②今次合併は一町村の合併に非ず國家、縣が責任をもつて保証し、指導すること

などの諸点から合併しないことは住民の福祉増進に逆行すると云うことに意見が一致したもので、今後は四町村間に於て町勢發展の①都市計畫の完全遂行　②産業振興など四大政策五ヵ年計畫の実現を大きく要望し、町内の合併反対者には以上の諸点から積極的に説明會をもつて全町民納得の線に努力することになつた

江名は二日に協議會
合併電車に乗り込むか

江名町は比較的合併に対して無関心を続けて來たが佐藤主事の説明により現在の段階に於て合併を拒否することは今後の自治体運營に非常な困難性のあることを察知し、以來理事者、議會を中心に各地區代表を交えて活発な協議懇談を續けて來たが、現在の處、上・下神白、永崎地區までは略々合併に傾いて來た模様であるが、大字江名地區は漁業による自存自立を主張する空氣が相當に強く二十一日午後一時から江名漁業協同組合会議員に於て大字江名地區代表者と中田町長、遠藤議長らが合併懇談会を開いており、この結果に大きな注目が集められている

江名町としては三月二日午前十時から町議会協議會を開催する予定であり、同協議会までに各地區の意向が合併に傾けば泉町同様合併申合せを行い急テンポに合併接衝に移るものと見られている

小名浜も協議會

小名浜町議会協議會は二十七日午前九時から役場会議室で開かれ急速に展開しつつある合ぺい問題に對する情報交換を行い協議を重ねたのち、警察廳舍敷地の選定について協議を行つた

湯本磐崎も合併協議

湯本町磐崎村の合併説明会は二十七日午後二時より湯本町公民館に於いて行れた

江名町は比較的合併に対して無関心を続けて來たが佐藤主事の説明により現在の段階に於て合併を拒否することは今後の自治体運營に非常な困難性のあることを察知し、以來理事者、議會を中心に各地區代表を交えて活発な協議懇談を續けて來たが、現在の處、上・下神白、永崎地區までは略々合併に傾いて來た模様であるが、大字江名地區は漁業による自存自立を主張する空氣が相當に強く二十一日午後一時から江名町議会協議會を開催する予定であり、同協議会までに各地區の意向が合併に傾けば泉町同様合併申合せを行い急テンポに合併接衝に移るものと見られている

小名浜も協議會

小名浜町議会協議會は二十七日午前九時から役場会議室で開かれ急速に展開しつつある合ぺい問題に對する情報交換を行い協議を重ねたのち、警察廳舍敷地の選定について協議を行つた

植田で消防講習會

消防協会植田支部（支部長関根忍氏）の消防ポンプ操法講習会は二十五日午前九時より植田小学校に於いて行れた

この日管内植田、錦、勿來、山田、田人、上遠野、入遠野、渡辺、川部の各消防團幹部、機械操手等約二百余名が參集午前中は講堂に於いて幻燈説明による学課午後はその操法實習を行つた

講師は縣消防災害課の奥山、長南の両技官が來町指導した

鮫川堰の事務所新築落成

植田町唯一のモダン建設だと評判の鮫川堰土地改良區（理事長古川傳一氏）の新事務所は植田町の都計になる同町町後（役場隣り）に樋田建設株式会社社長樋田清氏）の手で鋭意工事進行中であつたがこの程見事に完成、いよ〳〵三月一日新事務を執ゆることになつた

落成式は春の三月下旬頃の予定である

新市建設に前進？
自治懇談会一日に開かる

小名浜町外三町村自治運營懇談会は一日午前十時から小名浜町役場会議室で開催される

既に合併の大綱を打ち出している渡邊村に續いて泉町が二十六日の協議会で同様合併する意志を明らかにして來ており　江名町もこれと同様合併に参加すれば同懇談会は、「新市建設草案起草委員会」と改稱され、本格的に合併交渉が行われることになる

新市建設草案起草委員会（假稱）は新しい市を建設するための大綱

①町村廃置分合に關する件（対等合ぺいか吸收合ぺいかの合ぺい方式）

②議員の身分に關する件

③財産處分に関する件

④行政組織に関する件

⑤新市の名稱に關する件

⑥新都市建設五ヵ年計画立案の件

など九項目に亘る條項を縣の責任指導の許に協議立案し、草案の作製が完了すれば合ぺい参加町村全議員によつて承認の上各町村議會に於て夫々合ぺ決議がなされ、正式縣に申請の上内閣に申告新市発足と云う段取りとなる

各町村の合ぺい決議が三月十日までに行われれば各町村は新年度予算の編成は不要となり、新年度予算は合ぺいの曉に新市の形態に於て起草された新市建設五ヵ年計畫に基き編成されることになる

丹野さんが研究發表
石城農改推進員大會

石城地方農業改良推進員大会は三月三日午前十時から平市公会堂で開かれ

▽二十九年度農業改良普及及び事業計畫

▽市町村農業改良推進員活動の強化

などについて協議を行つたのち「農業改良推進員の研究發表が行われるとの研究発表に小名浜町野田の丹野喜政氏は郡代表として「我が家の生活改善」と題して研究発表を行う事になつている

三輪車がリヤカーに追突

二十七日午前五時五十分頃、小名浜町林の上地内吉川橋三百米手前の泉―小名浜間縣道路上で小名浜より走つて來た小名浜町榮町三番地＝鮮魚卸商＝馬上茂（二七）さんの運転する小型三輪車が前方をリヤカーをひき通行中の同町中坪五九番地＝魚商＝馬上ヨデ（五九）さんに誤つて追突、馬上さんは左頬及び後頭部に全治二週間の過擦傷を負い町内石井病院で加療した原因は運轉中の馬上さんが前方に注意を怠つたもの

モーター泥送検（植田）

錦町大字中田字馬場、無職桐生辰夫（二五）は去る二月二十日午前四時頃勿來町大日本炭鑛々業所坑内から動力用スイッチ一個（時價一万円）とモーター軸一個（時價一万圓）更に勿來町窪田蛭田左衛門氏所有の自転車一台（時價五千円）を盜取した容疑で植田地區署で取調べられていたがその犯行の一斎を自供、二十七日身柄を送検された

天氣豫報 26

「本日」東寄りの風、曇り時々小雨

「海上」見通し悪く多少風波があり時化氣味

魚菜市況 25

常磐名産　みりんキ

たまご八～九たまな三〇～六五大根八～一六ねぎ四七～七〇玉ねぎ五五～八〇ぱれいしょ七五～八〇さつま三七～六八ほうれん草三五～六〇にんじん四〇～五〇里いも五〇～六〇ごぼう二〇〇きりいも二〇〇三つば一二（一束）

内科　小兒科
眼科　産婦人科
▽姙産婦預ります
小名浜郵便局前
三森醫院
電話七九八番
醫師　三森光三
助産婦　三森晴江

産婦人科
久保田醫院
小名浜町横町　電二
院長　久保田亘
副院長　久保田眞一
助産婦　久保田イネ

祝　福島地方法務局植田出張所落成　2月28日

福島地方法務局
植田出張所建築協賛会
会長植田町長　渡辺國之助
錦町長　高木武一郎
勿來町長　青天目信次郎
山田村長　蛭田三郎
川部村長　鈴木長治
司法書士代表　吉田常代

菊多地区金融團
東邦銀行植田支店
支店長　小林保治
東邦銀行勿來支店
支店長　佐藤保
大東相互銀行植田支店
支店長　菅野素明
植田信用金庫
理事長　赤津庄兵衛
福島相互銀行植田支店
支店長　吉田吉二
常陽銀行植田支店
支店長　鈴水美代吉

法務局植田出張所
建築施行者
丹野建設工業株式會社
取締役社長　丹野四郎

吳羽化学工業
株式會社錦工場
工場長　山縣孝雄

大日本炭砿
株式會社
勿來砿業所

昭和25年10月6日 第三種郵便物認可　昭和26年7月13日 運輸省特別承認扱第684号

磐城日日

昭和29年(1954)2月28日 (日曜日) 第1061号

小名港豫算七千万

井年度に一万噸級接岸

伊藤所長談

小名浜港の「港灣整備促進法」による起債増額を運輸省及自治廳に要請する爲大竹縣知事以下八島總務部長の一行は二十五日午後三時から東京都中央區槇町日東紡ビル三階の縣東京出張所に於て木省より黒田港灣局長、佐藤第二港灣局次長、鶴田企画課長、自治廳側大村理財課長他関係者を招き種々懇談融資増額を要求した

この日縣側は知事、總務部長他高野土木部長、本戸河港課長等四氏、地元小名浜からは小野縣議、日本水素荘野社長、漁業組合理事比佐政種及び運輸省小名浜工事事務所長伊藤甫、縣港務所小名浜出張所長、浜田軌正の諸氏、オブザバーとして關内代議士も出席

まず大竹縣知事の挨拶の後伊藤工事事務所長より小名浜港現況工事進行狀態の説明があり續いて高野土木部長から小名浜港五カ年計畫の具体説明などを行つた。これに対し黒田港灣局長から予算面其の他の実情説明があつて両者間に円満な話合が成立した模様である

この席上に出席歸小した伊藤運輸省工事事務所長は二十七日、所長室で交渉の空氣を次の様に洩した

伊藤所長談

交渉の結果、はつきりした数字は未だ分らないが縣側の掴んだところによると約二千百万程度に落着くらしい、なお関内代議士が多少の増額を中央と再度接衝する動きもあるが、縣単獨事業費の五千万と合せ約七千万で二十九年度は工事を進め三十年度には七、〇〇〇万～一億の豫算範圍で岸壁工事と背後埋立を終らす。計畫で三十年末には一万トン級せんの姿が同港にもいよ〳〵見られるわけである。

植田登記所落成

二十八日盛大に祝賀式

福島地方法務局植田出張所の新廳舎落成祝賀式は二十八日午前十時より植田、錦、勿来、山田、川部に成る協賛會が主催となつて盛大に擧行される

この祝賀式には小野福島地方法務局長、同所、總務、登記、会計の三課長高木、松井両代議士、関係町村長及び議長等朝野の名志約百余名が參列される

法務局植田出張所は明治二十一年、治安裁判所餃川村出張所として發足当時十九カ村の登記事務を擔當、初代所長には小林保治郎氏が着任、昭和二十一年司法事務局として裁判所から分離して獨立、二十四年法務局植田出張所として所長に現代の小泉源作氏が着任、管内三町二カ村の登記事務（主として不動産、商業）を行つているが地方の発展と共に廳舎の設備も完全にしようと、去る二十八年植田町本町丹野建設工業株式会社（社長丹野四郎氏）の犠牲的な請負で見事にその新廳舎が落成したものである

落成した新廳舎は建坪四二坪、廳舎十八坪、官舎十六坪、倉庫六坪、物置二坪で事務所、應接室、ホールなどのある仲々のモダン建築である

吳羽で社宅

六四戸増築

吳羽化学工業株式会社錦工場（工場長山縣孝雄氏）では二十五驚内地内に建設する從業員社宅の入札を行つた結果、錦町中田錦興業株式会社（社長佐久間清一氏）に落札した、新設する社宅は建坪十一坪二四戸で錦町中田驚内地内に即時着手、完成は五月一杯の予定である

また十三坪建四十戸は大成建設KKが落札した

小名第二青年会で辯論大会

小名浜町第二青年會では二十八日午後一時より第三小学校講堂に於て会員の辯論大会を開催する、審査員には小名浜町公民館主事吉田幸氏他が当ることになつている

同青年会ではまた各分會對抗の卓球大会も同時に行われる

印刷 御用命ハ 電219

我が世の春で百%

就職白書ソノ二 ―二中の巻―

申込殺到で選擇に悲鳴

○……高校生の狭き門は進学にのみ止らず就職面でも不況の世相を深刻に反映させ浪人組ならぬ失業者が早くも出る仕末で卒業はしのたもの……とのところ職探しに生徒達は必死であるが、これら高校生の就職職線異狀ありの宵息吐息を何處吹く風とばかり「事業主の申込が殺到して選擇に困る」とうれしい悲鳴を上げ先輩の兄貴分を羨しがらせている新卒業中學生の就職戦線は異狀なしと學校側も職種さえ選ばなければ百%の就職率だと太鼓判を押している

○……小名浜第二中学校の例を見ると一八四名（内男八七、女九七）の新卒のうち進学、就職の率は男女とも約半数、男三二名、女四二名が就職希望者である。内決定した者は男一六、女二十四で

との決定者の七割は町内の機械工業者に吸收され女子の場合は女店員が多く、他は男女共平市をはじめ郡下の事業主に就職して行き、地方行は東京横浜、神奈川方面の一、二流会社の工員さん、女子ならば紡績会社の女工さんといつたところである。

○……こうした生徒達の職種別を眺めると傾向として男女とも何か手に職がつく仕事を誰もが希望してをり男子生が嫌う職種は小店員の類、女子は女中さんで男女ともこの種の申込は殺到し明日にでも決定するらしいが希望者は皆無であるらしい

○……変つたところでは男子には映畫撮影技師の見習、又大工さんの希望者が多くそうした職種につく者もかなりあり女子生徒の人氣は美容師と紡績女工さんである。給料は男女とも大差なく東京方面は手取六、〇〇〇圓住込で二、五〇〇～三、〇〇〇圓止りで町内もこの基準にそうズレはないらしい

○……こうした生徒の就職先も安定所からの申込さて議員諸公、喉もと過ぎれば暑さを忘るゝの諺通り選擧終れば選擧民を子分と心得るらしい、だがこの親分。自分のことばかり考え、子分のことは眼中にないと云う薄情な親分が多くある、その比喩は、いや〳〵これは云わぬが華でしよう

人種さまざま

議員の巻 ③

今日は耳までついている魔可不思議な望遠鏡を駆使して議員さんと云う名の人種の生態をのぞいてみよう

〃我輩は議員である、エヘン〃、おや、どこかでいやに氣取つた空咳が聞えるゾ、ソッとのぞいて見よう、見える見える、どこかの新聞記者を前に小さい体を無理に大きくして「それはだね、君、大局的見地にたつてだね君、考えなけりゃ獣目だよ君」

ハテ、どこかで聞いたような文句だぞ

さらば耳を片方へ向けてみよう、「▽▽ちゃん、お茶持つて来てくれ、フーンいいからだだね、どうだい」＝ポン＝「いやよ」とは▽女史の悲鳴もう一方の耳を使つてみよう

「君々ライハカレー大至急、アゝいつものヤツだ」と高調子で云う議員さん、ライカレーが余程の好物らしいが、物を顧むのを屁とも思わない様子です、太つた体を特徴のある歩き方で運びながらそれでも吉田首相を眞似てかブカリ〳〵と煙草をふかしている、まさかこの煙草の煙で我々をぼかす積りぢやないでしような

但しその方、首相には及ばずと見ては葉巻には非ず、至つて安物の様に見受けられます、ザッとこれが議員の一例、こんなのはまだ稚々きわまる可愛氣があります

会議上、晝飯はまだか……ガヤ〳〵、オヤツはまだか、ガヤ〳〵とは子供のようですネ

議員様

金を使わず物を喰い

入學進級卒業品用品

ランドセル皮製品550円
學帽120円より600圓
學生服セーラー服各種入荷
ギヤバ・ナイロン学生服揃
学生手提鞄付270円より
運動靴ゾーリ袋洋傘鞄荷圓
春セーター婦人子供辨当
パイロット万年筆250円
ノート・サンイ帳アルバム
化粧品柳屋メヌマ
ジユ・ウテナ80円
カネボウ春毛糸
ちどりフトン綿1900円

経費をかけずに良い品安く

チケット歓迎

皆様の店 平マーケット

小名浜第二小学校前 電二七

新入學の御祝には御子様の一生の思出になります
最上のでランドセルを
總牛皮製一九五〇円

会社設立御知らせ

今般皆様の御引立を頂いて居りました富士商会の強化を計るため富士工業株式会社と改名営業致す事になりました何卒一層の御引立と御愛顧の程をお願い申上げます

営業　暖房・冷房・給排水・衛生配管工事請負
科目　工業用ゴム製品販賣

福島縣小名浜町鳥居北（鹿島神社前）
富士工業株式會社
増尾孝介
電話七九四番

これは給對！

28日～2日 同時上映

豪華娯樂三本立!!

總天然色 西部活劇 ネバタ決死隊
總天然色 戀と活劇 スーダンの砦
腰抜け 武勇伝

小名浜 キネ

一般外科 内科 性病科 肛門科 放射線科（入院隨意）

草野医院

院長 草野道平
醫師 野門正

外務社員

男女年令不問希望者は履歴書持參の事

本社業務部

昭和廿九年度 入學案内要項（別科課程）

福島県立小名浜高校

一、趣旨

別科課程と云うのは本校に併設されているもので、新制中學卒業者が專ら和洋裁を習得するために、地域社会の要求に應えて、昭和二十五年五月に新設されたものである爾來内容も整備して本年は第四回の卒業生を送ることになつている

本校は学校教育の長所を生かし、洋裁・和裁を專門に學び、その傍ら家庭（料理・作法・育兒）華道・國語・社会・珠算等を課して教養を高め、立派な女性になつていただきたいと念願している

二、設置場所

小名浜町住吉　第三小學校の教室二室を当てている

三、授業内容

毎日六時間、休暇は夏季冬季休業の外に、春秋農繁期には夫々三週間程度の臨時休業がある　毎週授業時數は次の通りである　（　）内は時數

和裁（一三）洋裁（一三）國語（二）社會（二）珠算（二）体育（二）華道（二）家庭＝料理、作法、育兒＝（二～四）

四、授業料その他

毎月授業料二四〇円、PTA会費一〇〇円、生徒会費八〇圓　計四二〇圓

五、入学資格・修業年限

①新制中學卒業者又は之と同等以上の学力ありと認められた女子
②二カ年卒業　更に研究したいもののためにはその機会を与える

六、入學手續

①入学願書　②報告書　用紙は本校で交附する　この書類は出身中学校で作成し本校に直接提出することになつている

七、願書提出期間

三月一日から三月十日迄　本校で受付ける

八、募集人員　約四〇名

九、考査期日・科目・考査場

期日＝三月廿二日（月）午前十時～三時迄
科目＝國語・社會・理科・數学・保健体育・圖画工作・音樂・家庭・職業又は英語
考査場＝本校（小名浜町吹松一、臨港宮下駅から西方へ徒歩十分）

一〇、合格発表

三月二十五日　午前十時　本校第一校舎

※尚不明な点がありましたら本校係のものにお問い合せ下さい